



摩周岳・西別岳プロフィール

摩周岳は世界で有数の透明度を誇る摩周湖の東の端に位置しています。標高857mの頂上からは、車でアクセスできる展望台から見る摩周湖とは異なる姿が見られ、また、摩周湖と知床半島に位置する標高1,547mの斜里岳を含めた、周辺の壮大な火山地帯を眺めることができます。摩周岳の山頂へ続く急登の手前にある分岐点から伸びる道は西別岳へと続いており、縦走にチャレンジすることも可能です。

西別岳は標高799.5mの低山ですが、頂上からは摩周湖や摩周岳の眺望のほか、広大な根釧台地や雄阿寒岳、雌阿寒岳、知床連山、国後島までも遠望することができます。通称「がまん坂」と呼ばれる急傾斜がありますが、比較的登りやすく、またヨツバシオガマやヒオウギアヤメをはじめとする高山植物は数多く、標高1,000mの藻琴山^{p37}と比較しても多く咲き誇っており、西別岳の特殊性をうかがうことができます。

周辺の植物



ウメバチソウ
(開花時期 8月～9月)



トウゲピキ
(開花時期 8月～9月)



チシマフウロ
(開花時期 6月～8月)



ヨツバシオガマ
(開花時期 6月～8月)



エソツヅキ
(開花時期 7月～8月)



ヒオウギアヤメ
(開花時期 6月～8月)


6 摩周岳登山道



摩周岳はアイヌ語で「カムイヌプリ」(神の山)と呼ばれ、アイヌの人々に崇拝されてきた山です。この山へ向かう登山道は、深い青色をしたカルデラ湖である美しい摩周湖に沿って進み、ダケカンパの林や夏には高山植物が美しい草原を抜け、巨大な爆裂火口を左手に見て最後には急勾配の坂を一気に登って標高857mの頂上へと到達します。登山道には複数のビューポイントがあり、形を変える摩周湖の美しい姿と、透き通った湖面、そして阿寒摩周国立公園を形成する壮大なカルデラ地形などを楽しむことができます。

摩周岳の頂上から1.6kmほど手前には西別岳へ続く道の分岐点があり、本格的なハイカーは一度に両方の山を歩くことができます。夏の中旬から下旬には、マダニやアブがいますので長袖長ズボンの服装で登りましょう。

距離	[片道] 約7.2km	時間	[登り] 2時間30分 [下り] 2時間
----	-------------	----	-------------------------

 **グレード 3** 1日がかりの本格的登山とロングハイク
天候に注意! 装備は万全ですか?

アクセス

川湯エコミュージアムセンターからの行き方(自動車の場合)
●川湯エコミュージアムセンター→道道52号線(約30分)→摩周湖第1展望台登山口

注意事項

- 山頂付近では強風に見舞われる場合があります。天候を伺いながら慎重に行動しましょう。
- 爆裂火口付近の登山道には立ち入り禁止の箇所があります。滑落の危険がありますので、絶対に入らないでください。
- この登山道は自然公園法の特別保護地区内にあります。樹木の枝を折ることや植物を持ち帰ることは禁じられています。

7 西別岳登山道




西別岳登山道の主要な見所は、西別岳山頂799.5mからのパノラマの眺望と、6月から7月にかけて山の斜面を鮮やかに彩る高山植物の花々です。

西別小屋の駐車場から山頂までの登山道は経験の浅いハイカーには厳しい登山となるでしょう。登山道はところどころ岩が多く狭くなっています。がまん坂とはうまく名付けられたもので、登り始めの非常に急な部分は試練と言えます。試練を乗り越えた後には、高山植物のお花畑がハイカーを出迎えてくれます。

壮大で思い出に残るトレッキングにするには、摩周岳と西別岳の縦走にチャレンジしてください。周回コースではないので、どちらかの登山口(西別小屋または摩周湖第一展望台)に交通手段を準備しておくことを忘れないようにしましょう。

距離	[片道] 約3.3km	時間	[登り] 1時間30分 [下り] 1時間
----	-------------	----	-------------------------

 **グレード 3** 1日がかりの本格的登山とロングハイク
天候に注意! 装備は万全ですか?

アクセス

川湯エコミュージアムセンターからの行き方(自動車の場合)
●川湯エコミュージアムセンター→
国道391号線・243号線・道道885号線・林道(約1時間40分)→西別岳山小屋登山口

注意事項

- この登山道の付近には希少性が高い高山植物が生えています。植生を荒らさないよう登山道を踏み外さないようにしましょう。